

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		財産管理事務費 [普通財産処分 (売却等) 事業]											
予算科目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	6	財産管理費	事業番号	3		
事業の種別		<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名		総務管財			課			用地管財		係		課長名	岩本 尚史
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。										施策番号	行 - 2		
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現										総合計画書 (ページ)	122		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)							
	売却が決定された土地、交換や譲与が決定された土地					売却面積							
	→												
1 この仕事の目的	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)							
	売却し、歳入を確保する。適正な処分を行う。					売却金額							
	→												
1 この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
	①単独利用可能な土地は一般競争入札により売却する。 ②単独利用困難な土地及び入札に馴染まない土地は隣接土地所有者等に売却する。 ③市が必要とする土地を取得するために、普通財産を交換に供する。 ④公共目的のため譲与を行う。					①一般競争入札件数(売却) ②随意契約件数(売却)							
	→												
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標					
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績		令和2年度目標	令和3年度目標				
	対象指標	①の数値	m ²	8.33	73.04	0							
	成果指標	②の数値	円	860,489	5,485,304	0							
	目 標	②の目標値	円	目標値設定の考え方									
活動指標		③の数値	件	①0 ②1	①0 ②1	①0 ②0							
3 経費	事業費(実績)		円	0	0	0		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 (算出根拠)平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	一般財源		円	0	0	0							
	特定財源		円	0	0	0							
	(うち受益者負担)		円	0	0	0							
	所要人数(再任用以外)		人	0.3	0.3	0.3							
	所要人数(再任用)		人	0.0	0.0	0.0							
	職員人件費(再任用以外)		円	2,473,200	2,473,200	2,493,000							
職員人件費(再任用)		円	0	0	0								
事業費+人件費		円	2,473,200	2,473,200	2,493,000								
4 環境変化等	(1) 開始年度		不明 年度										
	(2) 環境の変化		財産管理事務の開始時期。不用資産を圧縮し、歳入を確保するためを目的としている。										

事業名称	財産管理事務費 [普通財産処分(売却等)事業]			
担当部署・課長名	総務管財	課	用地管財	係 課長名 岩本 尚史

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特になし	
	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)	
6 市民協働	<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()
(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点		
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容(「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記) 売却不可の保有地に関する検討	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 引き続き検討中である。	
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) 売却不可の保有地に関する検討	
	8 施策貢献状況(この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。) 施策名： 効率的でスリムな行財政運営の実現 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名：)	
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など) <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 今後も売払いは可能な保有地の情報収集に努め、売却につなげる努力が必要である。	
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 事業主管課との綿密な調整が必要である。	